

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2006年1月28日

63号

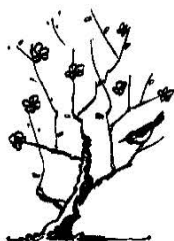
「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991



まもなく1割負担

自立支援法による手続きが始まる

横浜にも久しぶりの雪でしたが、皆様お元気でしょうか。とても寒く、ここ数日は短いのですがツララもみられました。ちょうど土曜日から降りだしたので障害者たちもそんなに困ったという声はありませんでしたが、グループホームから実家に帰る人たちは、タクシーを利用しました。普段雪がないと、雪道用の装備も用意していませんので弱いのです。豪雪地帯の方たちには申し訳ないのですが.....



さて、年が明けるといっせいに自立支援法による給付費の支給申請や、資産や収入の申告がはじまりました。情報が行き渡らない家族からは、不安の声が続出しました。

また、これからは、サービスが一割負担という事になります。これまでデイサービスで国から支払われていた支援費の一割というのと、その人にもよりますが、16000円前後かかります。それに給食費や、グループホームなどでホームヘルパーを頼んでいる人にはその費用がプラスされます。これは障害が重くて、たくさんヘルパーを使えば使うほどおおくなります。そして、生活費なのです。

ただ、収入によって上限が決められ減免措置もあります。世帯分離していて（同じ家の中で暮らしていても良いのですが）年金収入などだけの低所得障害者には、横浜市は、激変緩和策として3年間支援を行なうことになりました。

重い障害を持つ子を戸籍の上でも離すことには、複雑な思いの親たちも多いようですが、これを機として子の自立が進むというのも副産物でよいのかな、という気もしますが...。これから、ほんとに障害者が安心して暮らせるようになるのかとても心配されるところです。

これから何を考え、どう行動していかなければならないのか、なさねばならないことが盛りだくさんの新年となりました。



みなさんお元気ですか

港学舎主宰・NPO法人まいんどくらぶ理事 入江勝通

寒中お見舞い申し上げます。

横浜にも雪が降り、10センチも積もる厳しい冬になりましたが、お元気でお過ごしですか。

雪のときは、歩行中に滑って転ぶおそれがありますから、車椅子での移動は、きついのでありませんか。

でも、手袋やマフラーをして、雪の街を歩くのも悪くないですよ。

「たわわ」11月号の友子さんの「めがねのこえ」拝読しました。11月23日の市民フォーラム「移動の自由・移動の保障」の感想が、とてもわかりやすい言葉で、書かれています。

私は、日ごろ文章を読むとき、内容や言葉使いにひっかかりを感じる癖がついていますが、この文章は素直に、そうですね、と思いました。すんなりと受け入れ、うれしくなる文章です。

どうしてそう感じたのか、何度か読み返してみても思いました。

全体にてらいのない素直なことば使いが私の気持ちも素直にしてくれるのだと思います。

その中でも、とりわけ友子さんが、赤ちゃんの時のことやお年よりのことなど、出会った人の発信をちゃんと受け止めて「私は障害者で不自由な状態がずーと続いているのですが、『結局は同じなのかな』と思いました」という感懐にいたる、他者への澄んだまなざしがすてきなだとわかりました。

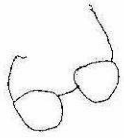
「皆と一緒に考えながら暮らしよい所にしたい」という思い、同感です。そうですね。私もがんばらなくっちゃ。

あ、それから、2月17日から19日の、菊名・大倉山・新横浜を巡るコミュニティバスの試運行＝試乗＝街探訪においでください。

新しい発見や出会いがあるかも。

NPOへの道 ③

すこしずつ準備が進められている特定非営利活動法人（NPO）への取り組みですが、ようやく定款の検討が終わり、趣旨書や18年度、19年度の事業計画書、それに伴う予算などの書類を持参してこの1月26日神奈川県担当者の指導を受けました。定款はこの法人の最も基本となるところを記す物ですので、事業計画書などと定款との整合性を中心として細かくチェックされました。基本的にはこれまでの「支える会」の活動をそのまま継続する形で作成しましたので、私達にとって違和感のある活動は盛り込まれていませんが、法人ですので定款も普通の規約とは異なり、民法や特定非営利活動法人促進法などに影響され、より厳密なものになっています。今回の指導を受け修正したものを、もう一度来月指導を受けてその後総会に掛けて、皆さんの議論を得て決めていくことになります。



めがねのこえ

前は バリアフリーの話もいろいろ書きました。今は、電話ボックスも低くなったり乗り物も少しづつ使いやすくなりました。レストランや高速道路のパーキングエリアもよくなったと書いたこともあります。

でも今度両親と3人で旅行をしたとき、ちょっと困って考えたことがありました。いつも車で旅行するとき、荷物がたくさんで車イスを出しにくいし、私は支えてもらえば、少しは足が運べるので、トイレに行くときなどは、行きは母がおんぶしてくれて、帰りは足の運動もかねてゆっくり歩いて車のところまで帰ります。

サービスエリアでとまったとき、駐車スペースと障害者トイレが離れていてすこしたいへんでしたし、中に腰をおろせるベットもイスもないところもありました。障害者といっても皆車イスに乗っているというわけでもないし、杖で歩く人や、高齢者や病気の人もあるので大変なのは、私だけではないとおもいます。

もうひとつ困ったことがありました。このごろは、障害者用トイレが広くて使いやすいからといって子供づれの人たちが並んでいることがよくあります。このときも母は、私を負ぶったまま、「子供なのですぐだから、待ってあげよう」と言いました。ところがなかなか出てきません。上手に手が洗えないようでした。あいていれば、誰も使ってもかまわないと思いますが、障害者がきたら譲って欲しいと思いました。この時は他のトイレはあいていました。おんぶして貰っているのも疲れるし、母も腰がいたくなるからです。

優しそうな人で「お待たせしてごめんなさいね」とニコリして言いました。私たちが『いえどういたしまして』といったのですが、、、、やっぱり皆が障害者は大変だと言うのが本当にわからないと、設備があっても変わらないなと思います。

こんなとき、車イスを出して乗っていればもっとらくだったかもしれません。駐車スペースに、貸し出し用の車イスが置いてあれば便利なのになーとおもいました。

でも、楽しく旅行できないようでは、楽しく生活できないとおもうのです。疲れるという人もいるかもしれないけれど、私は、外に出ると元気になります。

大 原 友 子



ご入会・ご継続ありがとうございます。

《賛助会員》 岡村 貞子 寺澤 順

(敬称略) 平成18年1月25日現在

今月のよつばホーム

2006 年も始まりました。みなさんにとっても良い年でありますように。

さて、入居者の今年の運勢は???

よつばホーム

☆福田次郎さん（おひつじ座）

「エネルギーが満ちあふれる年です。集中力もあり、芸術的才能を発揮できるので創作活動に向いています。健康面ではストレスからくる胃腸系の病気には要注意。」

☆藤田博之さん（てんびん座）

「出会いなどが期待できる最高の年。金銭的にも社会的にも恵まれ、申し分ありません。健康面では好調ですが、疲れやすい年。音楽を聴いたりして、上手にリフレッシュしましょう。」

☆高畠勢津子さん（おうし座）

「人間関係が極めて良好な年です。健康面ではお付き合いで忙しくなり、胃腸系に負担がかかりやすく。疲れを溜めすぎないように注意しましょう。」

☆花岡佐千江さん（しし座）

「何事にも活動的に取り組むことのできる年。健康面では、活動的に動いてしまうので、睡眠不足に陥りがち。自分のペースを保ちましょう。」



第2 よつばホーム

☆阿部健市さん（しし座）

「あわてず、騒がず、のんびりいこうをモットーに。趣味やレジャーを大いに楽し

みましょう。病気はそれほど心配はいりませんが、お肌の調子が悪」

☆山田宏さん（みずがめ座）

「今年の水瓶座は決してめげず、そのプレッシャーさえもバネにしてしまう強さを持っています。健康運に恵まれ、バイタリティーはじゅうぶんです」

☆大原友子さん（いて座）

「思わぬところに幸運が転がっている星まわりです。たまたま連絡をした相手から、吉報をもたらされたりする暗示が。前半は、睡眠のリズムを壊しやすいときでもあります。できる限り、夜ふかしや朝寝坊はやめましょう。」

☆富岡章子さん（さそり座）

「今年はフットワーク軽く、積極的に行動することで幸運を呼び込むことが。ときどきひどく疲れることはあっても、健康に過ごせます。ビタミン不足やカルシウム不足には気をつけましょう。」

今年もよつばホーム・第2 よつばホームをよろしくお願いします。